

進路通信 春みどり

【 1 号 】 平成29年4月10日発行

福島県立田島高等学校 進路指導部

「新たな自分の発見～未見の我～」

校長 湯田重哉先生

平成29年度がスタートしました。新入生の皆さんはもちろん、進級した2年生・3年生の皆さんも自己目標の達成に向けて、決意を新たにしていると思います。皆さんにとって、これから的一年が充実した素晴らしい年になることを期待しています。

ところで、皆さんには「未見の我（みけんのわれ）」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？「未だ（いまだ）見たことのない自分」、つまり自分が気づかずを持っている才能のことを意味します。

数年前、『S P E C～警視庁公安部公安第五課 未詳事件特別対策係事件簿～』というドラマがありました。そこでは様々な特殊能力を持った人間がその能力を使って犯罪を繰り返し、刑事と対決していく様子が描かれていました。このドラマでは、人間は通常10%しか脳を使っていないので、残りの90%を使えば特殊能力を発揮できるという設定でした。もちろん、これはフィクションであり、とんでもない特殊能力を持つ人間が存在するはずはないでしょうが、持っている能力を最大限に引き出すことができれば、人間はどのようなことが、どこまでできるのかと想像してしまいます。

皆さんにも、自分で気づいていない才能が必ずあります。例えば、数学が苦手だとしても語学や音楽の分野に素晴らしい才能があるかもしれません。あるいは、球技が苦手でもレスリングや弓道などで素晴らしい才能を発揮できるかもしれません。その他にも、味覚を磨くことによって一流のシェフを目指せる人、嗅覚の訓練により調香師のような仕事で活躍できる人、手先の器用さを生かして職人芸を発揮できる人など、様々な例があるはずです。ただし、潜在的な才能を発見し、開花させるためには、毎日をただ何となく過ごすのではなく、勇気を持って様々なことに挑戦していくことが必要です。本気になって取り組むことによって、眠っている才能が目覚め、新たな自分を発見することができるのです。

幕末に活躍した吉田松陰先生は、門下生に向かって次のように叱咤激励したそうです。「未だ、見たことのなかった自分を目指しなさい。心は熱く、一生に一度くらい、本気でやってみなさい。必ず達成します。運命を造りなさい。」

高校時代は、自分の生き方を模索する時期です。様々な可能性に挑戦して自分の才能を開花させ、悔いのない人生を送ってください。

平成29年度 『進路の手引き』 & 平成28年度 『合格体験記』

毎年4月、新しい「進路の手引き」を皆さんに配付しています。進路目標を定めるための情報や、今、取り組むべき具体的な内容が記されています。手引きを参考に、皆さんだけでなく、保護者の方としっかりと進路の話し合いをしていきましょう。

Q.進路実現に必要な家庭学習時間は？

就職試験で内定を得るためのハ箇条とは？

卒業生の進学校・就職企業はどんなところ？ 答えは進路の手引き！

キャリア教育の日 4月26日

1年：オリエンテーション合宿

2年：インターンシップに向けて

3年：企業及び学校見学

(ゴメ、ブリジストン、宇都宮大学、宇都宮文星短大、TBC専門学校等)

☆キャリアとは、自分の生き方人生進む道を大きく捉えた言葉です。自分の将来を想像してみましょう。

はじまりの風に乗ろう

進路指導部長 春日 智志

新年度がスタートしました。今、みんなさんの目の前には、さわやかな風が吹いています。「はじまりの風」です。新学年のスタート、田島高校生としてのスタート、新しい先生、先輩・後輩との出会い、新しい授業の始まり・・・。何ごとも最初が肝心です。昨年がどんな1年であったにせよ、前向きな気持ちでこの「はじまりの風」をつかまえ、それに乗るのです。

10年後や20年後、みなさんはどんな自分になっているでしょうか。どこで、誰と何をしているでしょうか。それらを決めるのは、みなさん自身です。みなさんは、高校時代に、勉強に力を入れたり、部活動に一生懸命取り組んだり、ボランティア活動に参加してみたり、友人と楽しい時間を過ごしたりと、いろいろなことを考えながら、様々なことに取り組んでいます。それらの毎日の行動や姿勢が、将来の「自分」を少しずつ作り上げていきます。自分自身の行動によって、どんな「自分」にでもなることができます。「なりたい自分」になれることです。

しかしながら、みなさんも気づいていると思いますが、「なりたい自分」は簡単には手に入りません。自分の夢や目標を達成するためには、どのような進路に進めばよいのか、高校時代に何をどれくらいしなければいけないのかを考え、行動に移し、その努力を積み重ねていかなければなりません。それらは簡単ではありませんが、「努力の成果が出るのはとても時間がかかる」ということを心に留めておけばよいのです。今日やったから、明日結果が出るというものではありません。時間はかかりますが、目標を設定し、自分を信じて粘り強く努力を継続し、それを達成したとき、そこには、きっと新しい自分、新しい世界が待っていることでしょう。

今、この新年度の4月が、自分を変え、新たに行動を起こすチャンスです。「はじまりの風」にうまく乗って、一気に上昇してしまいましょう。たいてい、ものごとは最初の取りかかりがうまくいきさえすれば、案外スムーズに進んでしまうものです。進路指導部では、年間を通して、学習ガイダンスや進学講演会、職場見学会やインターンシップ、進路体験発表会といった、進学にも就職にも対応できる様々な行事を用意しています。それらの行事に前向きに取り組み、新しい自分、新しい世界に出会ってください。

湯田二三子（理科）

亀山敏彦（国語）

進学担当。進路指導室周辺には将来へのアンテナがいっぱいあります。

星野恭代（家庭）

就職担当。ちょっとした進路相談、大歓迎です。

いつでもどうぞ。

松田駿介（農業）

視野を広く、目標は高く。
進路実現のため、
頑張る皆さんを全力でサポートします。



新学期がスタート！自分の進む道を決める為にじっくり考えおします行動。まずは進路室へ元気にあいさつして入ってみましょう。皆さんのお話を聞くことから、応援します。

武藤 聰（保健体育）

まずは進路指導室に気軽に遊びに来てください。小さな悩みから大きな悩みまで全力でサポートしますので、一緒に頑張りましょう。